

学校便り

令和2年7月1日(水)



青井小学校

NO.5

校長 齋藤 智子

工夫できること

校長 齋藤 智子

梅雨明けが待ち遠しい頃となりました。6月1日(月)から3週間続いた、各クラス10名程度の分散登校を終え、6月22日(月)から一斉登校が始まり、青井小に子供たちの笑顔、元気な声が戻ってきました。保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、朝の検温等の健康観察を引き続きよろしく願いいたします。

さて、本校では、新しい生活様式を踏まえた学校の教育活動として、密を防ぐために、登校時間と休み時間に時間差をつけ、昇降口での混雑を防いでいます。暑い時期ですので、熱中症対策をしながら、マスクを着用、人との距離を意識させながら、机の間隔をあけて授業を行っております。日々取り組んでいる授業の形態も工夫し、一例として、図工と音楽の専科の授業を紹介いたします。

①教室

比較的材料や用具が少ない活動、または、周囲を汚さない活動。

②図工室(つい立て使用)

作業スペースが制限されますが、対面の座席で飛沫感染を防ぐ効果が考えられます。(図1参照)

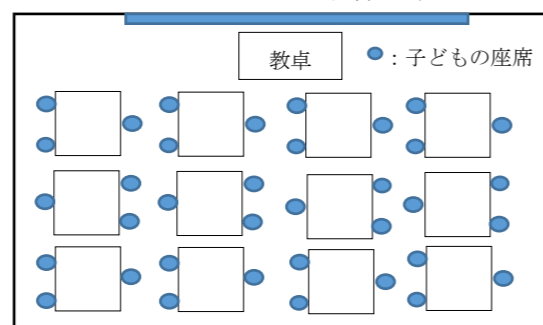
③図工室(特別配置)

つい立ては使用せず、児童が向かい合わせにならないよう、通常は4人のところ、3人が互い違いになるように座ります。(図2参照)

図工では学年や学習内容によって、場の設定を工夫し3つのパターンのどれかで授業を行っています。



【図1】段ボールを切っけつい立てを作成しました



【図2】3年生、図工室での座席例

音楽の授業では、感染が落ち着くまでの間、歌唱では、普段のように声を響かせて歌わず、マスクをつけた状態で、歌詞を小さな声で唱えたり、旋律を軽く口ずさんだりする程度にしています。これらの活動も1時間の授業で短い時間で行います。歌詞の内容や音楽の特徴から歌い方を考えたり、曲を聴いて感じたことを伝え合ったりするなど、曲や表現の仕方について思考する学習を中心に行っていきます。

器楽では、マレットや手で打つ打楽器類(木琴や鉄琴、キーボード、太鼓類)、小物の打楽器、自分の体で出せる音(手拍子など)を中心にした器楽の学習を行っています。

マレットや直接手にふれる楽器は、できるだけ同じ授業内での兼用を避けるようにしたり、楽器を置く場所を考えたり、教室配置を工夫したりして進めています。

放課後には全教職員が、児童の机・椅子、共有場所、共有道具類の消毒を毎日しています。これからも、感染防止対策を徹底し、子供たちが学校で過ごす時間を楽しみにしながら、毎日元気に登校してくれることを願っています。

7月の予定

- ・これからの感染の状況によっては変更もあり得ます。
- ・1年～6年の欄の数字は授業時間数を表しています。(5→5時間授業)
- ・「ゆ」は「ゆうやけ教室」です。ゆうやけ教室は、対象児童の補習教室です。当面は前学年で参加した児童が対象となります。(1年生はまだ実施しません。)
- ・SCは、スクールカウンセラーの略です。毎週火曜日と水曜日に来校されます。
- ・避難訓練は、例年予告なしで実施していましたが、今年度は感染リスクを減らしながら実施していきます。

	曜日	行事	ゆ	S C	キ ッ ズ	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1	水	心臓検診(1年生と該当児童) 外国語アドバイザー来校日		○	※キッズパレットの実施については、未定です。分かり次第、学校メールでご連絡いたします。	5	5	5	5	5	5
2	木		ゆ			5	5	6	6	6	6
3	金	外国語アドバイザー来校日				5	5	5	6	6	6
4	土										
5	日	都知事選									
6	月					5	5	6	6	6	6
7	火			○		5	6	6	6	6	6
8	水	区小研のため昼食後下校 安全指導		○		4	4	4	4	4	4
9	木		ゆ			5	5	6	6	6	6
10	金	外国語アドバイザー来校日				5	5	5	6	6	6
11	土					3	3	3	3	3	3
12	日										
13	月	体育館使用開始				5	5	6	6	6	6
14	火	尿検査2次		○		5	6	6	6	6	6
15	水	尿検査2次追加		○		5	5	5	5	5	5
16	木	避難訓練	ゆ			5	5	6	6	6	6
17	金	外国語アドバイザー来校日				5	5	5	6	6	6
18	土										
19	日										
20	月					5	5	6	6	6	6
21	火			○		5	6	6	6	6	6
22	水	外国語アドバイザー来校日		○		5	5	5	5	5	5
23	木	海の日									
24	金	スポーツの日									
25	土										
26	日										
27	月					5	5	6	6	6	6
28	火			○		5	6	6	6	6	6
29	水			○		5	5	5	5	5	5
30	木		ゆ			5	5	6	6	6	6
31	金	外国語アドバイザー来校日				5	5	5	6	6	6

自宅で過ごす時間を生かして 読書のすすめ

図書担当 小原 梢

休校、分散登校が終わり、いよいよ新しい生活様式に基づいた学校生活が再開されました。外出自粛は少しずつ解除されていますが、今までよりも自宅で過ごす機会が増えている今、ぜひ読書のよさをお伝えしたいと思います。

<子供にとっての読書活動とは>

子供にとって、読書活動とは、「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないもの」です。読書を通して、さまざまな世界を知り、自分自身の考えを確かめたり高めたりする体験を重ねながら、考える習慣や豊かな感性、情操、思いやりの心などを育てていきます。

本を読むことは、子供にとって、自分自身が好きなときに、気軽に違う世界に足を運ぶ一つの手段ともいえるのではないかと思います。気持ちが落ち着かないとき、不安なとき、何か新しいことにふれたいとき…、自分のいる世界とちょっと違う世界へ冒険できる、素敵な本との時間を子供たちに知って、深めてもらえるよう、学校でも図書ボランティアや図書館支援員の方々と連携して、本への興味関心を高める工夫を行い、取り組んでまいります。

現在、図書室では、夏の「読書感想文コンクール」に向けて、課題図書の展示を行っています。児童向けの新書の中から、それぞれの発達段階にふさわしい本が選択されていますので、ぜひ興味があるものを読んでみてほしいと思います。

2020年 課題図書（第66回 青少年読書感想文全国コンクール）

<低学年の部>

- 「山のちようじょうの木のとつぺん」 最上一平 作<新日本出版社>
- 「おれ、よびだしになる」 中川ひろたか 文<アリス館>
- 「タヌキのきょうしつ」 山下明生 作<あかね書房>
- 「ながーい5ふん みじかい5ふん」 リス・ガートン・スキャンロン他 文<光村教育図書>

<中学年の部>

- 「青いあいつがやってきた!？」 松井ラフ 作<文研出版>
- 「ねこと王さま」 ニック・シャラット 作・絵<徳間書店>
- 「ポリぶくろ、1まい、すてた」 ミランダ・ポール 文<さ・え・ら書房>
- 「北極と南極の『へえ〜』くらべてわかる地球のこと」 中山由美<学研プラス>

<高学年の部>

- 「ヒロシマ消えたかぞく」 指田和 著<ポプラ社>
- 「月と珊瑚」 上條さなえ 著<講談社>
- 「飛ぶための百歩」 ジュゼッパ・フェスタ 作<岩崎書店>



今後の行事について

- 運動会は「運動発表会」として11月14日(土)に実施します。
- 日光自然教室、鋸南自然教室の実施可否は、7月上旬に教育委員会が決定します。

【夏季休業日後に中止をする行事・教育活動等】

- 今年度の学習発表会は中止となります。
- 今年度の特別支援学級設置校連合運動会は中止となります。

本日、学校だよりと併せて年間行事予定をお渡ししておりますので、ご確認ください。
今後、行事の予定が変更になる場合には、学年だよりやホームページでお知らせしていきますので、

～5年生 高学年の仲間入り～

一組

二組

あきらめないで 難しいことにも チャレンジする

時間を見て行動し すばやく動く

クラスの人といっぱい話す
そして友達をいっぱい作る

勇気をもって発言する 話すことをよく考える

どんな人が見ても すぐわかるようなノートを作る

友達に 授業の内容を 伝えられるようにする

毎日 規則正しい生活をする

いろいろな人に あいさつをする

自信を出して手をあげて
自信をもって 自分の書いた答えに
みんなの前で 発表する

集中して学習に取り組む 人に親切に接する

字をきれいに書く 積極的に手をあげる
整理整頓をきちんとする

低学年の見本に なれるようにする

先生の話 を ちゃんと聞いて 集中する

すべての教科で 自分の意見や質問を言う

国語の文章を 読み取ることが できるようにする

人の意見に流されず、自分の意見を伝える

見ているだけではなく、助けに行く

一年で 本当の楽しさを 見つける

お知らせ

- 今年度予定されていた東側トイレ改修工事は、次年度以降に延期となりました。
- 昨年度中止となったプール保全工事は、秋以降に実施の予定です。